

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

663-370

事務事業名	イタチガ沢最終処分場管理事業					財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	水道環境部	課等名	環境課			包含する細々目	1	4	2	2	11	1	
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり												
施策	56 廃棄物の減量と適正処理												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する条例						
		事業期間	S62	年度～	22		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	市内から収集される埋立ごみ	埋立ごみ量(t/年)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			3077		3070	
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	埋立ごみを安全で安定して効率的に処理をする	単年度の埋立ごみ量(t/年)	18目標	3077	最終目標	
			18実績		19目標	3076
			23目標	3400	23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	家庭より排出される埋立ごみを安全に運搬・処理し、処分場を安定した状態に保つための運営、維持、管理する。	イタチガ沢最終処分場の運営、整備、維持、管理の継続 分別徹底による埋立てごみの減量の徹底	埋立廃棄物量(t/年)	3302
	18年度の実績			
	19年度計画	最終処分場の運営、整備、維持、管理。 埋立ごみの減量化、資源化のための市民への働きかけ。	埋立廃棄物量(t/年)	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	10,000	8,000
	一般財源	7,150	13,847
事業費計(A)	17,150	21,847	
人件費	正規職員所要時間	18年度 1,800	19年度 1,801
	臨時職員等所要時間	5,000	5,000
	人件費計(B)	11,812	11,815
	トータルコストA+B	28,962	33,662

特定財源内訳や補足事項	その他(最終処分場搬入ごみ手数料)
-------------	-------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	周辺の環境が保全され、ごみが適正処理される。	埋立ごみ全体・埋立以外の量/全体埋立ごみ(%)	現状値	80	19実績	80
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
旧毛呂窪処分場が昭和63年3月に閉鎖され、当処分場が昭和63年3月供用開始された。埋立ごみの適正処理のため、管理型処分場として開設した。	・平成18年度より3ヶ年の計画で、新処分場の建設に着手した。 ・平成21年度中に移行する予定 ・地元要望について地元対策委員会が跡地利用を含め検討中である。	・処分場地元住民にはごみの減量を求められている。 ・市民も処分場の大切さをよく理解している。 ・次の処分場を心配している。

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	閉鎖後の安定管理に向けて検討 跡地利用計画は、提示案をもとに早期決定にむけて、対策委員会と協議を進めます。 新処分場への引き継ぎがスムーズに行えるよう、地元関係者との協議を進めます。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	閉鎖後の安定管理 埋め立て地の跡地利用計画

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	